

# 時代をひらくデザイン

4/22 \$ 6/18 \$ 0 2023

> クデザインの第一人者です 杉浦非水(1876~1965)は明治から昭和にかけて活躍した日本のグラフィッ

して、 三越呉服店の図案部で宣伝ポスターやPR誌のデザインを手がけ、そのブランドイ図案家の道へ進みます。書籍や雑誌の装丁をはじめ、当時、流行の発信地であった 百花譜』などの作品、そしてデザインの源となった資料までも含めた約300点に本展は、ポスターや図案、装丁を中心としたデザインの仕事、スケッチや『非水 素を取り入れた非水のデザインは、日本人の美的感覚に、アール・ヌ・ メージ創出に貢献しました。さらに、 清輝と知り合い、 さをあわせ持ち 愛媛県松山市に生まれた非水は、 日本におけるデザイン意識の普及や教育に大きな役割を果たしました。 現代の私たちの目をとらえます。 黒田がフランスから持ち帰った書籍や資料を目にしたことから、2生まれた非水は、東京美術学校日本画選科在学中に洋画家の黒田 レトロな魅力とともに時を経ても古びない新鮮 ヴォーやウィーン分離派といった西洋の造形要 図案集の出版やデザイン雑誌の刊行などを通

非水の生涯にわたる功績を紹介します。

# 展覧会のみどころ

### 日本で最初のグラフィックデザイナー 初の全国巡回展

日本のモダンデザインのパイオニアとして知られる杉浦非水。 全国で開催する巡回展は、今回が初めてです。

※当館が最終会場

# 初期から晩年までの代表作が勢ぞろい! 非水を知る入門編にして決定版

ポスター、装丁、雑誌表紙、パッケージデザイン、図案集などの代表 作はもちろん、彼の創作の背景を知るためのスケッチ、写真、遺愛の 品々もご紹介。東京美術学校時代の作品から晩年のデザインまで、初 公開を含む約300点で、非水の仕事をたどります。

### 今でも色褪せない 普遍的なデザインの魅力

三越、カルピス、ヤマサ醤油・・・企業から絶大な信頼を得て、非水は人々の記憶に残る多くのデザインを生み出しました。写生に立脚した確かな「線」や、ポップでカラフルな「色使い」など、非水の遺したデザインは今も色褪せることなく私たちを魅了します。

# 杉浦非水 (1876~1965年)

つとむ

本名・杉浦朝武。愛媛県松山市に生まれる。日本画家を志して上京し、 東京美術学校日本画選科に入学。在学中、洋画家・黒田清輝のもとで フランスの雑誌、写真などを目にしたことをきっかけにデザインの道 に進むことを決め、独学。

1908年から27年間勤めた三越呉服店では初代図案部主任となり、広告から機関雑誌、商品のデザインを手掛けた。日本で最も早い時期の専業デザイナーとして知られ、明るく洗練されたデザインを得意とした。

1929 年には帝国美術学校(現・武蔵野美術大学)教授工芸図案科長に、 1935 年には多摩帝国美術学校(現・多摩美術大学)初代校長に就任。 今日のデザイン界の礎を築いた。

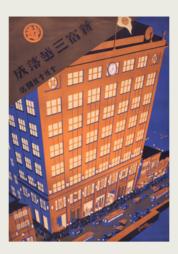


1.



『非水図案絵葉書』より 1915-16 年頃 愛媛県美術館蔵

2.



《新宿三越落成 十月十日開店》 1930年 愛媛県美術館蔵

3.



《爽快美味滋強飲料 カルピス》 1926 年 愛媛県美術館蔵

4.



《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》 1927 年 愛媛県美術館蔵

5.



《星製薬》 1914 年 アドミュージアム東京蔵

6.



『非水百花譜』(昭和版) 1929-34 年 愛媛県美術館蔵

7.



『アフィッシュ』第一年第一号 1927 年 愛媛県美術館蔵

8.



徳富蘆花著(アーサー・ロイド、フォン・ファーロット、小野秀太郎英訳) 『NATURE AND MAN 英訳 自然と人生』 1913 年 個人蔵

### 開催概要

展覧会名 杉浦非水 時代をひらくデザイン

会場群馬県立近代美術館

会期 2023年4月22日(土)~6月18日(日)

※会期中、一部展示替えを行います。

前期:4月22日~5月21日 後期:5月23日~6月18日

開館時間 午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般 900 (720) 円 大高生 450 (360) 円

※( ) 内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

主催群馬県立近代美術館、毎日新聞社

協賛 ニューカラー写真印刷株式会社

特別協力 株式会社三越伊勢丹ホールディングス、東京国立近代美術館

企画協力 愛媛県美術館

# 関連事業

### 講演会

「図案家・杉浦非水と日本の消費文化」

講師:神野由紀(関東学院大学人間共生学部教授)

日時:5月27日(土)午後2時~3時30分

場所:2階講堂 定員:100名 申込不要、参加無料

### 学芸員による作品解説会

日時:5月10日(水)、6月3日(土) 午後2時~3時

場所:展示室1 申込不要、要観覧料

お問い合わせ 群馬県立近代美術館

広報担当 見城久美子 KENJO Kumiko E-mail kenjyo-kumiko@pref.gunma.lg.jp

370-1293 群馬県高崎市綿貫町 992-1

TEL 027-346-5556 / 5560 FAX 027-346-4064

